

県民の安心の
拠り所となる
病院であること

K o h a r u b i y o r i
VOL. 60

こはるびより

愛媛県立中央病院広報誌「小春日和」



CT装置更新！～患者さんの負担の少ない検査を目指して～

新しく導入した
「320列 Area Detector(面検出器)CT」



検査を指示・判断する「医師」と安全に装置を取り扱う「診療放射線技師」たち

- Index** P1-2 CT装置更新！
320列 Area Detector(面検出器)CTに更新しました
- P3 診療科紹介「乳腺・内分泌外科」
- P4 ドクターズカルテ、研修医紹介
- P5 紹介・予約制のご案内
「愛媛の医偉人」コーナーのご紹介
転入・転出医師(2023.6.1～2023.8.31)
- P6-7 愛媛県立中央病院のご紹介
- P8 連携医療機関紹介 ～第31回～

【自由にお持ち帰り下さい】

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地
TEL:089-947-1111 2023年8月31日発行



愛媛県立中央病院



320列 Area Detector (面検出器)CTに更新しました

エリア デテクター



当院では診断用 X 線 CT 3 台体制で検査に対応しております。今回、その中の 1 台を 320 列 Area Detector (面検出器)CT に更新いたしました。

従来装置と比較して画質の向上とともにAI (深層学習) を使った再構成を行うことで被ばく低減も可能となっております。CT装置の更新により、新たに搭載された機能についてご紹介します。



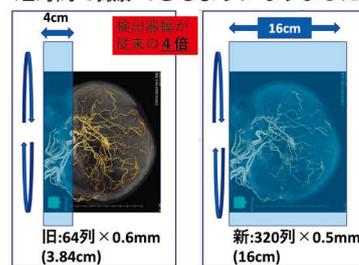
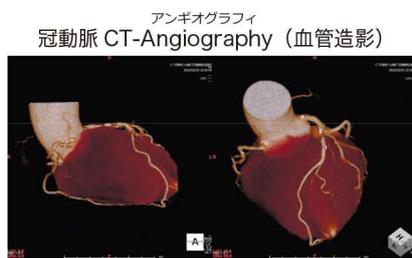
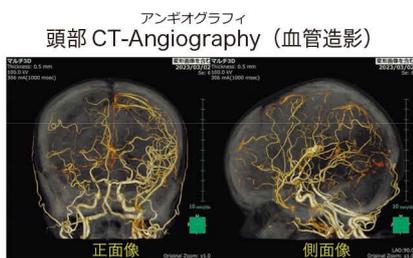
検査中の様子

面検出器について>>>

X線管から照射されたX線を受ける部分である検出器が体軸方向に従来装置(約4cm)の約4倍である16cm(320列×0.5mm)とより広くなったため撮影時間が1/4となります。

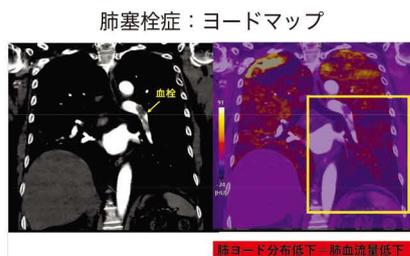
また、脳や心臓などの臓器全体を1回転(1秒以内)で撮影できるため、救急患者さんや小児など動く患者さんでもブレの少ない画像を提供できます。

短時間で撮影できるようになりました



Dual energy について>>>

1つのX線管で高低が異なる2種類のエネルギーを1回転している間に交互に照射することでDual energy撮影ができます。その2種類のエネルギーを利用し撮影した画像から物質の成分を推定したり、造影剤が多く取り込まれている部位を強調するヨードマップなどの作成が可能となったため、より分かりやすい画像を提供できるようになりました。



右の画像は肺塞栓症の症例です。血の塊である血栓が血流によって肺の血管(肺動脈)に運ばれ、そこをふさいでいる(塞栓)冠状断像(体の背側と腹側に分割する平面で断ち切った画像)になります。従来装置では、左側の白黒画像しか提供できませんでしたが、Dual energy撮影を行うことで、造影剤の分布を反映してカラー画像にすることが可能となりました。その画像によって血流が途絶えている部分を明瞭にすることができ、小さい血栓の発見も期待できます。

金属アーチファクト低減機能について>>>

SEMAR (Single Energy Metal Artifact Reduction) は、画像及び生データ上から金属を特定し、金属アーチファクト(金属周辺が黒く欠損したり、線状のノイズが入る現象)を低減する再構成処理のことです。右の画像は通常画像とSEMARを使用した画像処理を行った同一横断面を表示しています。その処理を使うことで、両側人工骨頭の金属部分の影響により黒く欠損した部分が減少して、観察が困難であった金属周辺臓器が評価可能となります。つまり今まで検査をすることが難しかった患者さんへの検査も精度が向上し、検査できるようになりました。

金属アーチファクト低減機能



CT検査を受けたいとお考えの方へ

検査内容や被ばく、病気等についてご心配な方はお近くのかかりつけ医にご相談ください。

診療科紹介 乳腺・内分泌外科



乳腺・内分泌外科は、患者さんの乳腺および甲状腺に関連する疾患の診断と治療を専門としています。以下に、当科の特徴と提供する診療をご紹介します。

当科には、乳腺・甲状腺領域で幅広い知識と経験を持つ医師が所属しています。常に新しい医学的知見に基づいて診断を行い、症状に合った治療計画を立案します。また、個別の患者さんニーズや希望に合わせた医療を提供いたします。

乳腺疾患には乳房のしこり、乳汁異常分泌、乳がん検診での異常などが含まれます。当科では、乳房の画像診断（マンモグラフィ、超音波検査、MRIなど）、組織生検などの診断手法を用いて病変を評価します。乳がんは診療ガイドラインに従い、年齢や併存症などを考慮して個々の患者さんに適した治療を行います。

また、甲状腺腫瘍に対しては超音波検査、穿刺細胞診、甲状腺シンチグラフィなどを使って診断し、必要に応じて手術を行います。

がんと診断された患者さんは病気のこと、今後のこと、命のことなど様々な不安に襲われます。病状や治療法について丁寧に説明しご理解いただくと共に、心理的なこと、就業のことなど、患者さんが安心して治療に取り組めるように多職種でサポートします。

今後も、専門知識と経験豊富なスタッフ陣が一丸となって、患者さんに安心してもらえる質の高い診療を提供できるよう努めてまいります。



▲多職種での術前カンファレンス風景



▲超音波検査

乳がんで亡くられる方を一人でも少なくするための「乳腺外科医」からのお願い

乳房を意識する 4つの生活習慣



ブレスト
アウェアネス

自分の乳房の状態を知る

◎乳房を、見て、触って、変化を感じる事が大切です

乳房の変化に気を付ける

◎いつもと変わりがないかな？という気持ちで取り組みましょう

変化に気づいたらすぐに医師に相談する

◎躊躇せずにはかかりつけ医に相談

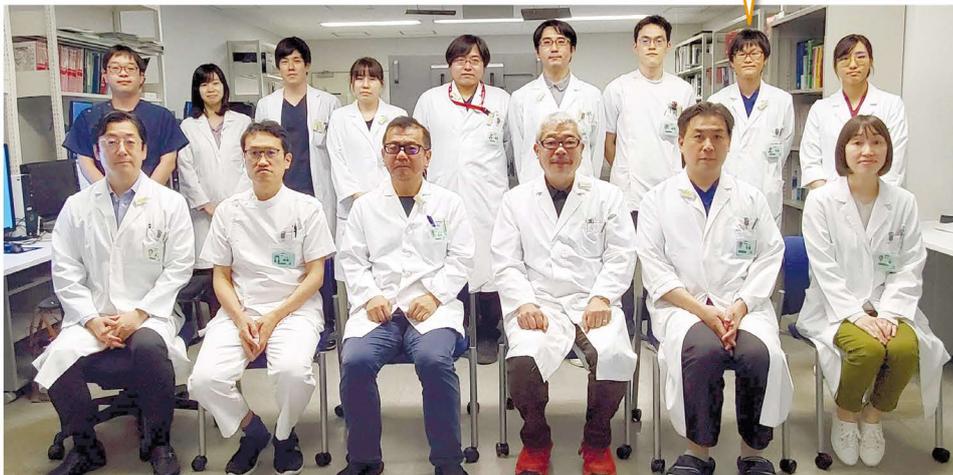
40歳になったら、2年に1度は乳がん検診を継続して受ける

◎症状がないからこそ検診を受ける

放射線科の平井邦明と申します。出身は岐阜県ですが、愛媛大学を卒業後、愛媛大学放射線科に入局し、2022年から当院に勤務しています。CTやMRIなどの画像診断を専門としています。放射線科は直接患者さんと接することは少ないですが、画像診断を通してお役に立てれば嬉しいです。

私生活では半年程前に第一子が生まれました。少し前まではとても小さかったのに日に日に大きくなり、最近は寝返りで移動できるようになりました。子供の成長を見るのが一番の楽しみです。仕事も子育ても頑張っていきたいです。

平井医師



▲放射線科メンバー（後列右から2番目）



▲寝返りができるようになった息子

当院の研修医を紹介します

1 年次研修医 こんどう 近藤 あきとし 章敏医師

Resident

仕事以外の過ごし方を教えてください。

普段は家でくつろいでいることが多く、YouTubeやTVドラマの録画を観て過ごしています。同じ大学出身の同期がおらず入職当初は不安でいっぱいでしたが、今では一緒に松山城に登ったり、県外までドライブに行くほどの仲になりました。

日頃気を付けていることは何ですか？

ご高齢の方やお体の弱い方と接する機会が多く、病気を移してしまうことも、もらうことも多い立場にあるので、十分に食事睡眠をとるなど健康面には気を配っています。

今後の目標は何ですか？

研修医は指導医の先生の治療方針を参考にできる、とても恵まれた立場にあると思います。気を抜くとどんどん治療が進んでしまうので、その状況に甘えることなく、積極的に診療に参加し、自分なりに評価・治療方針を考え、少しでも早く一人前の医師になれるよう励みたいと思います。



▲内視鏡のシミュレーション中



▲松山城で同期とパシャリ(真ん中)



当院の通常外来は、令和5年10月1日より「紹介・予約制」に変わります。

「紹介・予約制」とは？

紹介元の医療機関において当院の予約を取得し、患者さんはその予約により受診するという医療連携の一形態です。したがって当院の通常外来を初めて受診するときは、かかりつけ医やお近くのクリニック等（以下、「かかりつけ医」といいます。）からの紹介状と予約が診療科ごとに必要となります。

当院は「かかりつけ医」から紹介を受けて高度・専門的な医療を提供する「地域医療支援病院」、「紹介受診重点医療機関」です。「かかりつけ医」と当院がそれぞれ得意とする医療を担当し、お互いが連携することで、地域の医療を支えています。

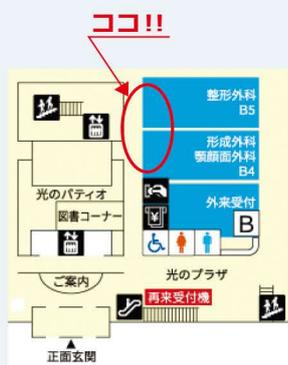
この機能をより一層発揮させるために紹介・予約制を導入することとしましたので、ご理解をお願いします。

～受診の流れ～

- ① 体の異変があるときは、まず「かかりつけ医」を受診し、医師とご相談ください。
- ② 「かかりつけ医」にて当院への受診が必要と判断された場合、「かかりつけ医」に紹介状を用意してもらうとともに「かかりつけ医」から診察予約も取ってもらいましょう。
※その場ではなく、後日電話等で予約日時を伝える医療機関もございますので、「かかりつけ医」にご確認ください。
- ③ 受診当日は当院宛て紹介状と健康保険証等、また手元にありましたら診察予約票をお持ちになってご来院ください。
- ④ 紹介状をお持ちであっても予約がない場合は、当日の診療状況により長時間お待ちいただく場合や、別の日に予約をお取りいただく場合がございます。原則として「かかりつけ医」に事前に診察予約を取ってもらうようお願いいたします（予約のない場合の受付時間は 8:30～11:00です）。
※かかりつけ医などからの紹介なしに、当院を含む地域医療支援病院を受診すると、診療費とは別に「選定療養費」の負担が生じます。また、「選定療養費」を払えば必ず受診できるというわけではありませんので、ご理解をお願いします。

「愛媛の医偉人」コーナーのご紹介

皆さんは、医療界で有名な愛媛に縁のある偉人をご存知ですか。このコーナーでは、そんな「愛媛の医偉人」を取り上げ紹介していきます。院内の総合案内から図書コーナーに進んださらに先の壁に特設パネルを設置していますので、是非ご覧ください（不定期で更新予定）。



本誌でも1名ピックアップしてご紹介!



さいき ただす
佐伯 矩

(1876年9月1日～1959年11月29日)

伊予市灘町の栄養寺にある佐伯矩の顕彰碑。矩は毎日栄養寺の前を通って松山の旧制中学まで通っていました。矩が栄養の漢字表記を提案したとき、栄養寺のことが浮かんでいたのかもしれない。

愛媛県新居郡氷見村（現・西条市）で生まれ、少年時代は北山崎村・郡中町（現・伊予市）で育った。栄養学の創始者、栄養学の父と呼ばれ、医学から栄養学を独立させ、栄養学について世界中で講演した。世界初の栄養学研究機関である栄養研究所を創設した。文部省に「営養」の表記を「栄養」に統一するよう建言するほか、栄養士養成学校を設立し、栄養士制度を発展させた。偏食、栄養士、栄養効率、栄養指導などの言葉は佐伯矩が創った。



転入・転出医師 (2023.6.1～2023.8.31)

▶ 転入	所属	氏名	専門
	血液内科	諫見 俊宏	専攻医
	脳神経外科	大塚 祥浩	脳血管障害、正常圧水頭症、脳腫瘍、頭部外傷
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	高須賀 大暢	専攻医

▶ 転出	所属	氏名
	麻酔科	橋本 由莉恵
	産婦人科	山内 雄策
	腎臓内科	西脇 麻里子
	脳神経外科	瀬野 利太
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	木村 拓也

愛媛県立中央病院 DIAA のご紹介

※表記のないところは 2022 年度集計

医師・歯科医師数



294 人

(正規・臨時・パート・嘱託職員を含む)
※2023年4月1日現在

看護師数



833 人

(正規職員のみ)
※2023年4月1日現在

専門・認定看護師数

26 人

病床数



827 床

※許可病床数

救急受診者数

6,402 人

※3次救急 等

救急車での搬送件数



3,889 件

※3次救急 等

入院延患者数

188,401 人

新入院患者数

16,409 人

1日平均患者数

45.0 人

外来延患者数

329,509 人

1日平均患者数

1,356.0 人

紹介患者数 (初診のみ)

16,064 人

紹介率

76.3 %

逆紹介率

122.3 %

平均在院日数

10.5 日

ドクターヘリ出動件数

299 件



年間手術件数

7,600 件

※手術室実施・算定分

外来化学療法年間実施件数

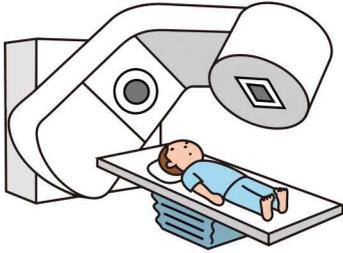
9,072件

PET-CT 検査件数

2,682件

放射線治療件数

8,773件



ロボット支援手術件数

328件

※実施件数



手術支援ロボット

分娩数



890件

MRI 検査件数

11,295件



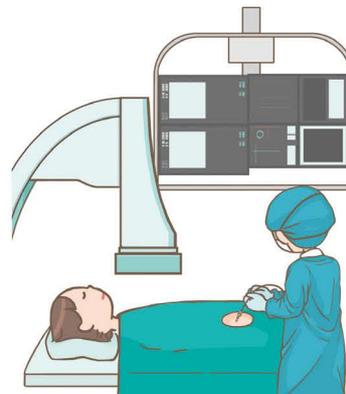
内視鏡検査件数

9,067件



血管・心臓カテーテル検査総件数

2,267件



リハビリテーション実施患者数

3,306人

連携医療機関紹介 ～第31回～

医療法人 かわさき眼科

- 所在地 松山市三杉町1-1
- TEL 089-951-6110 ■FAX 089-952-6150
- 診療科目 眼科
- 外来診療時間 休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00 (受付は 11:30まで)	○	○	○	○	○	○	×
15:00～18:30 (受付は 17:00まで)	○	○	○	×	△ 14:00～	×	×

※当院は予約の方が優先です

【病院の概要】2010年7月に開院しました。伊予鉄三津駅から東へ徒歩7分、JR三津浜駅から西へ徒歩約10分と両駅のほぼ中間でセブンスター三津店の西隣です。駐車場は6台、金曜以外は2診体制、医師とスタッフ総勢16名です。

【病院の特徴】「人生100年時代、一生、自分の目で見て生活を送る」を目標に、「もし自分の親なら、子どもなら、この治療がベストか、手術が必要か」などを自問自答し、診療を行っています。幼少期の視力発達、学童期の近視対策、青年期のコンタクトレンズケア、壮年期からは特に緑内障の診断、治療、日帰り白内障手術に力を入れています。特に緑内障患者さんの不安や悩みに対しては、勉強で得た知識と培った経験から適切な治療法を提案していきます。他の眼科疾患についても同様に親身に対応させていただいています。



* 病院の写真は世界緑内障週間（今年3月12～18日）のライトアップinグリーン運動の一環で外観を緑でライトアップしたものです



医療法人 うつのみや皮膚科

- 所在地 松山市余戸東4-1-5
- TEL 089-965-1101 ■FAX 089-965-1102
- 診療科目 皮膚科
- 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日・お盆

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30※ (受付は 8:55～12:00)	○	○	○	○	○	○	×
14:30～18:00 (受付は 14:25～17:30)	○	○	×	○	○	×	×

※土曜のみ8:45～12:00

【病院の概要】2022年4月に開院しました。伊予鉄道余戸駅から徒歩約6分です。医師1名ですが、現在は土曜のみ非常勤医師と2名で診察しています。Webページから現在の受付人数が見られ、混雑状況が確認できます。

【病院の特徴】愛媛大学皮膚科での勤務経験を活かし、皮膚科一般診療を行っています。かぶれ、湿疹から、にきび、多汗症、帯状疱疹など広く皮膚疾患に対応いたします。全身型の紫外線照射器を設置し、乾癬、尋常性白斑、アトピー性皮膚炎などの全身性の紫外線療法が施行できます。乳児湿疹、小児アトピーなど、小児皮膚疾患も診療しております。スタッフと一丸となって、丁寧に説明し、確実な治療を目指しています。



当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。（紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。）

